



2022年3月期 決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス
2022年5月

2022年3月期 連結業績の概要

2022.3
実績

- 売上高814億円（前期比108.8%）、営業利益415億円（前期比114.8%）
 - ・ 新車販売減により下取り車が減少。堅調な中古車需要により取扱台数の増加と成約率の上昇。
 - ・ 中古車輸出台数は、前期比117.3%。コロナ前の2019年と比べ95.0%。
 - ・ 中古自動車等買取販売は、オークション相場が高値で推移するも買取台数が減少し、増収減益。
 - ・ リサイクル事業は金属スクラップ相場の高値推移による売上高、粗利益増および解体工事の取扱い増により増収増益。

2023.3
業績予想

- 売上高841億円
 - ・ 通期台数計画は、出品台数2,860千台、成約台数1,850千台、成約率64.7%
- 営業利益431億円

株主還元

- 2022.3期 1株当たり 66.2円（予定）
- 2023.3期 1株当たり 67.4円（予想）※23期連続増配を目指す
 - ・ 配当に関する基本方針：連結配当性向55%以上
- 自己株式の取得を実施中
 - ・ 100億円/600万株を上限に取得（4月末での進捗率 91%(金額ベース)）
 - ・ 自己株式取得終了後、自己株式は発行済株式総数の5%を残して消却（予定）

- 売上高814.8億円（前期比108.8%）、営業利益415.7億円（前期比114.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益297.4億円（前期比739.5%）。
- 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて、過去最高を記録。

（単位：百万円）

	2021.3	2022.3	前期比	計画 (2021年11月8日時点)	計画比
売上高	74,874	81,482	108.8%	77,600	105.0%
売上原価 (売上比)	28,341 (37.9%)	30,710 (37.7%)	108.4%	29,979 (38.6%)	102.4%
売上総利益 (売上比)	46,533 (62.1%)	50,772 (62.3%)	109.1%	47,620 (61.4%)	106.6%
販売費及び一般管理費 (売上比)	10,306 (13.8%)	9,197 (11.3%)	89.2%	9,220 (11.9%)	99.8%
営業利益 (売上比)	36,227 (48.4%)	41,574 (51.0%)	114.8%	38,400 (49.5%)	108.3%
経常利益 (売上比)	36,996 (49.4%)	42,374 (52.0%)	114.5%	39,100 (50.4%)	108.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上比)	4,022 (5.4%)	29,745 (36.5%)	739.5%	26,500 (34.1%)	112.2%

2022年 3 月期 営業利益増減分析（実績）

売上高要因

リサイクル増	24.0億円
出品台数増	13.2億円
成約率増	13.1億円
手数料単価増	9.1億円
中古自動車等買取販売増	6.5億円

売上原価要因

原材料仕入原価増	▲7.7億円
商品売上原価増	▲7.3億円
仕入れ高増	▲6.6億円
従業員給与・賞与増	▲2.5億円

販管費要因

のれん償却額減	12.0億円
---------	--------

(億円)

400

66.0

▲23.6

11.0

300

200

362.2

100

415.7

0

2021.3実績

2022.3実績

(単位：百万円)

売上高	2020.3	2021.3	2022.3	前期比
オートオークション	63,350	61,048	64,858	106.2%
中古自動車等買取販売	9,099	8,646	9,300	107.6%
その他	5,692	5,180	7,323	141.4%
合計	78,143	74,874	81,482	108.8%
営業利益（営業利益率）	2020.3	2021.3	2022.3	前期比
オートオークション	35,436 (55.6%)	35,463 (57.7%)	40,217 (61.7%)	113.4%
中古自動車等買取販売	103 (1.1%)	271 (3.1%)	136 (1.5%)	50.2%
その他	369 (6.4%)	400 (7.7%)	1,200 (16.4%)	300.1%
消去または全社	100	91	19	21.2%
合計	36,009 (46.1%)	36,227 (48.4%)	41,574 (51.0%)	114.8%

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

- 投資活動によるキャッシュ・フローは主に関係会社株式の売却による収入と固定資産の取得による支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは主に配当金の支払いと自己株式の取得による支出。
- 自己資本比率は78.4%。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

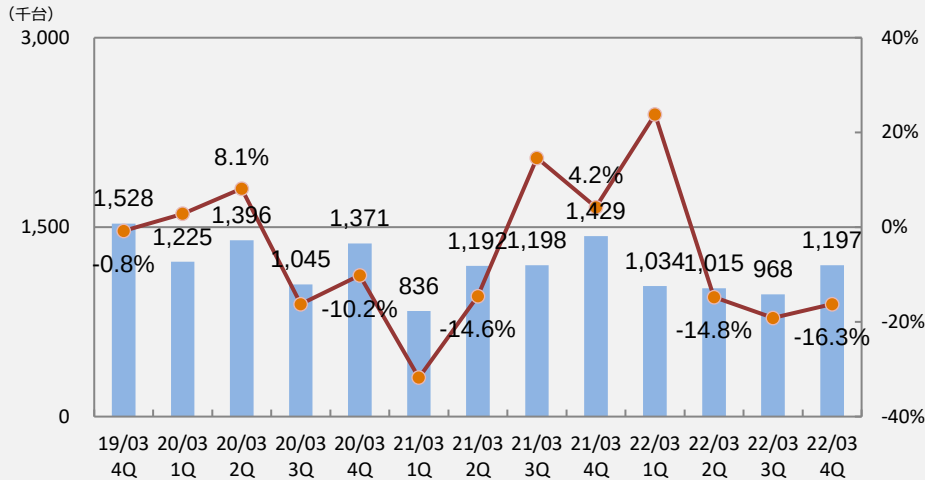
	2021.3	2022.3		2021.3	2022.3
流動資産	81,528	103,872	流動負債	26,922	37,884
現金及び預金	67,770	79,380	オークション借勘定	11,788	21,213
オークション貸勘定・他	13,757	24,491	その他	15,133	16,670
固定資産	129,171	125,481	固定負債	10,253	8,996
有形固定資産	103,302	100,379	負債合計	37,175	46,880
その他	25,869	25,102	純資産合計	173,524	182,473
資産合計	210,699	229,354	負債・純資産合計	210,699	229,354

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

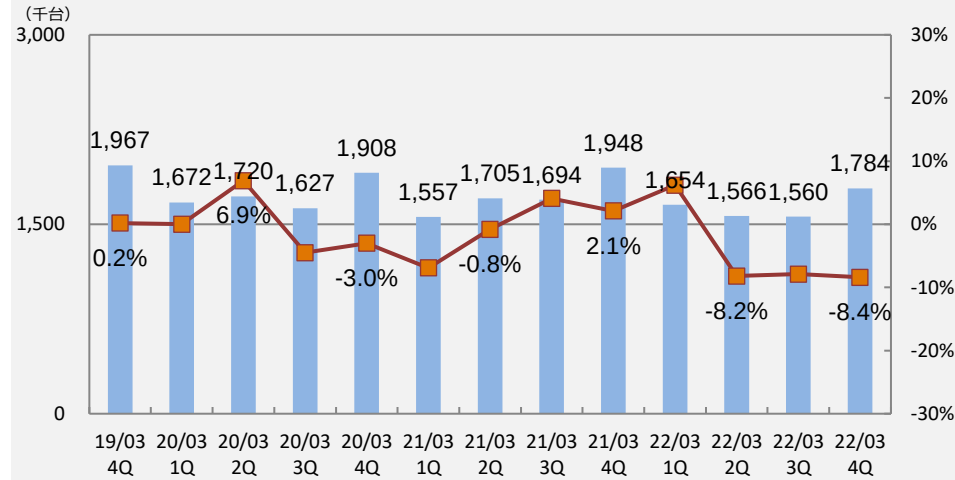
（単位：百万円）

	2020.3	2021.3	2022.3	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,245	38,407	36,630	▲1,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲4,906	▲9,330	▲1,339	7,990
フリーキャッシュ・フロー	22,339	29,076	35,290	6,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲16,963	▲15,035	▲24,680	▲9,644
設備投資（支出ベース）	4,523	8,985	2,036	▲6,949
減価償却費	5,037	5,334	4,959	▲374

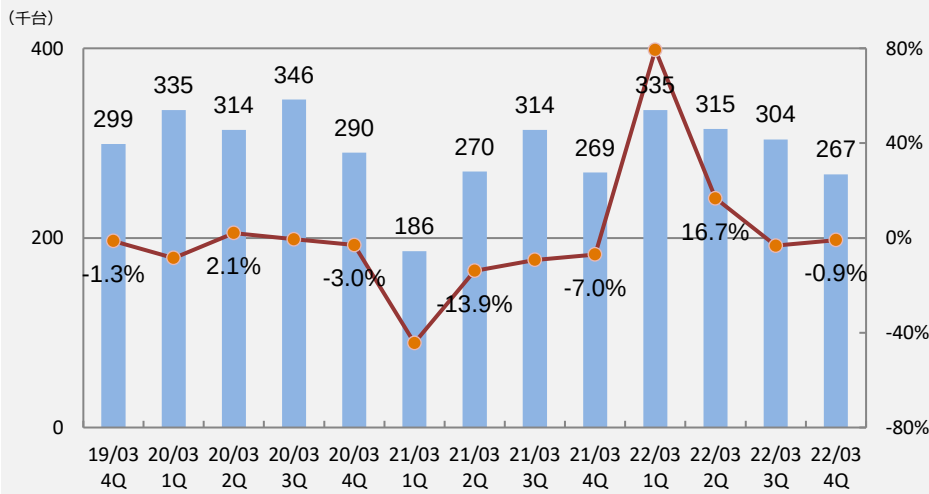
新車登録台数と前年同期比



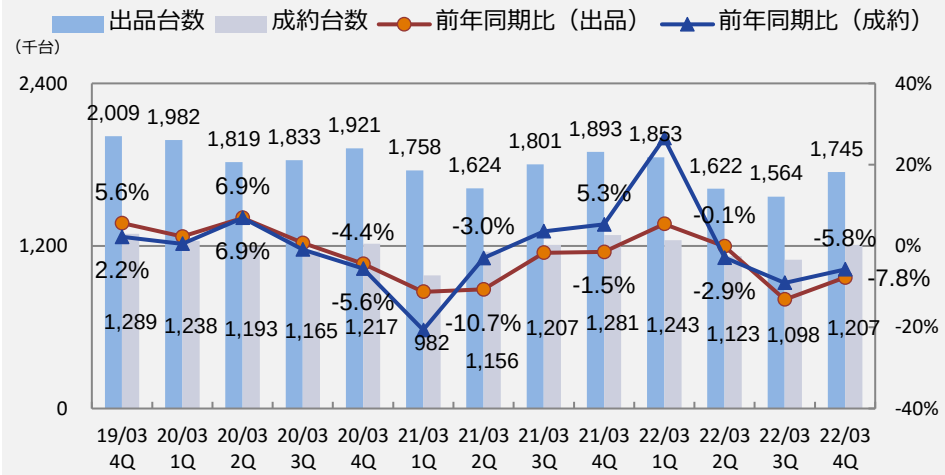
中古車登録台数と前年同期比



中古車輸出台数と前年同期比



AA市場 出品・成約台数と前年同期比



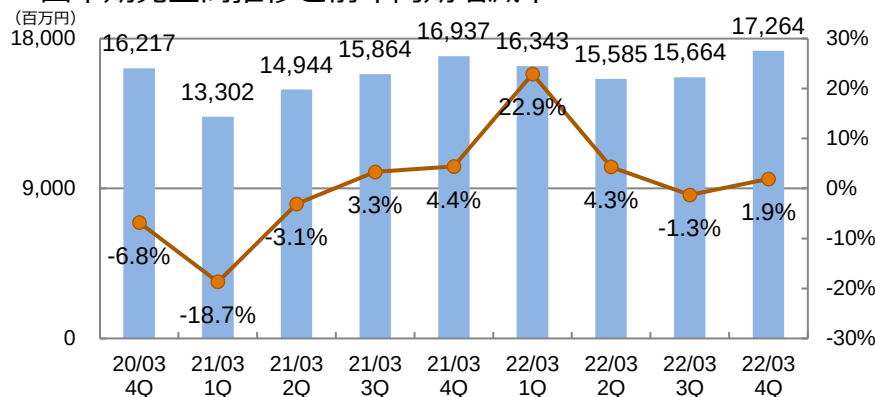
- 出品台数は273.1万台（前期比102.7%）、成約台数は178.7万台（前期比106.3%）、成約率は65.4%（前期実績63.2%）。
- 取扱台数の増加や成約率の上昇などにより増収増益。

オートオークションのセグメント通期業績（累計）

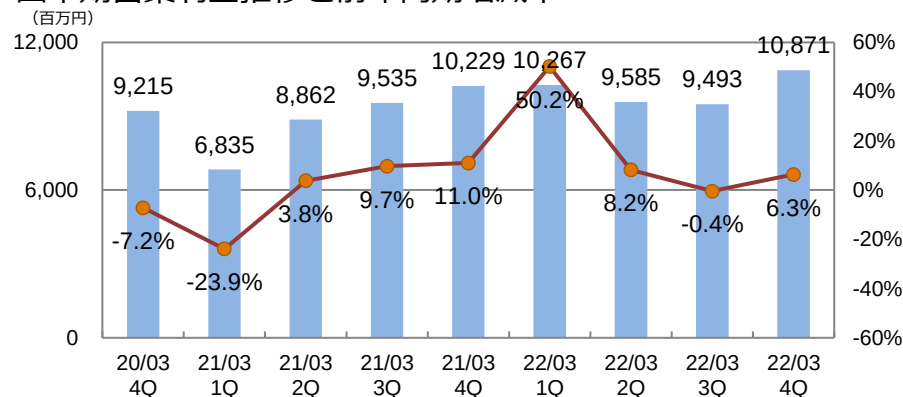
（単位：百万円）

	2020.3	2021.3	2022.3	前期比
売上高	63,350	61,048	64,858	106.2%
出品手数料	15,047	14,151	15,198	107.4%
成約手数料	14,499	14,088	15,088	107.1%
落札手数料	21,758	21,573	23,076	107.0%
その他	12,044	11,234	11,494	102.3%
営業利益	35,436	35,463	40,217	113.4%
営業利益率	55.6%	57.7%	61.7%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率

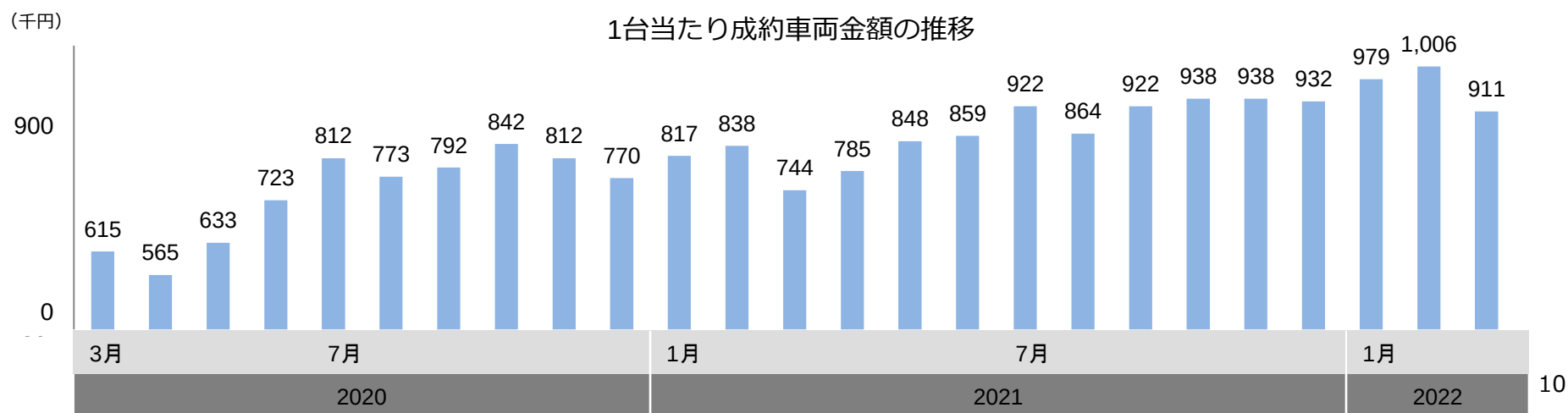
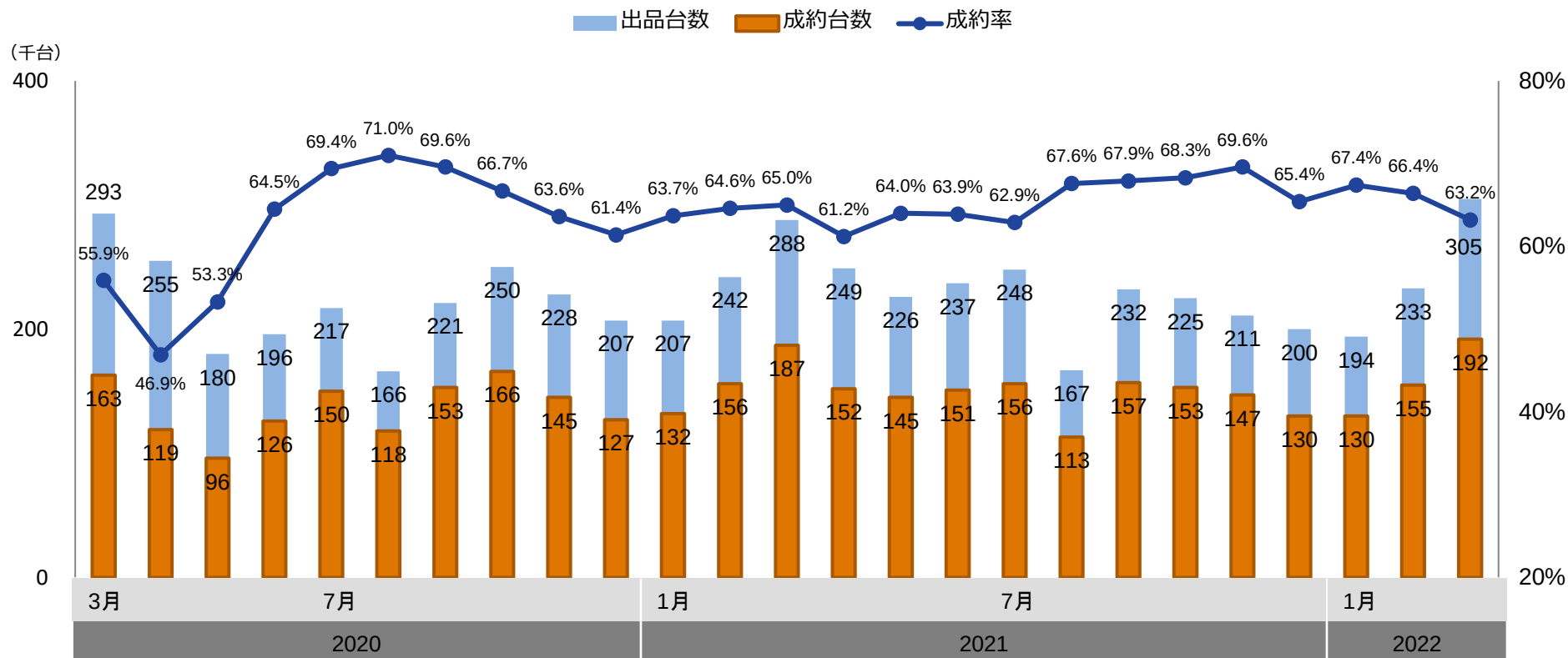


四半期営業利益推移と前年同期増減率

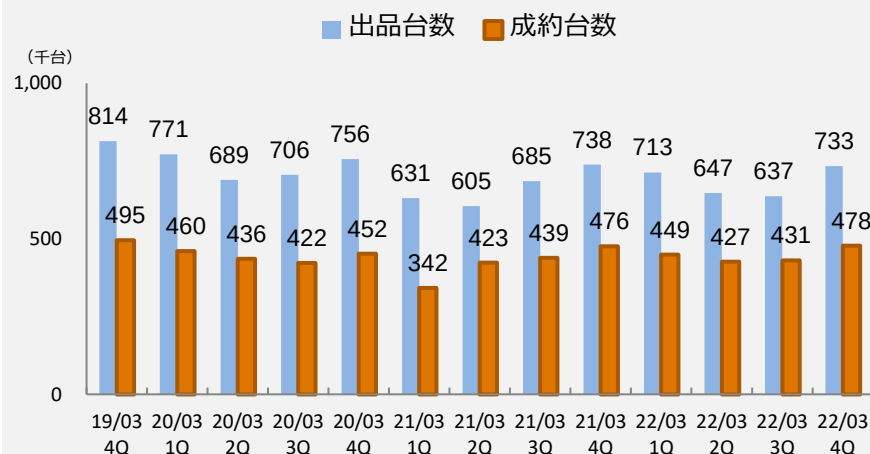


※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

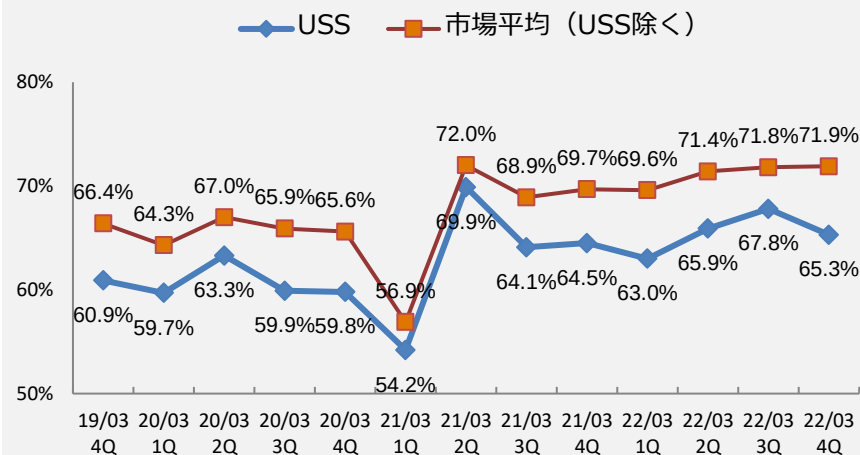
オートオークションのセグメント② 月次推移



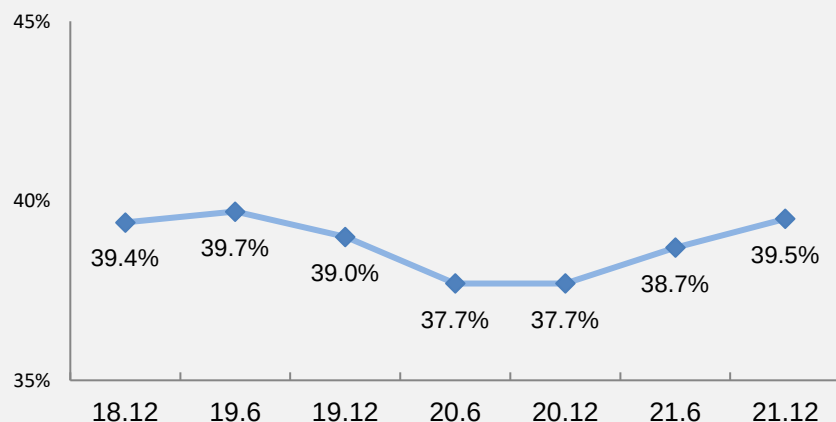
出品・成約台数の推移



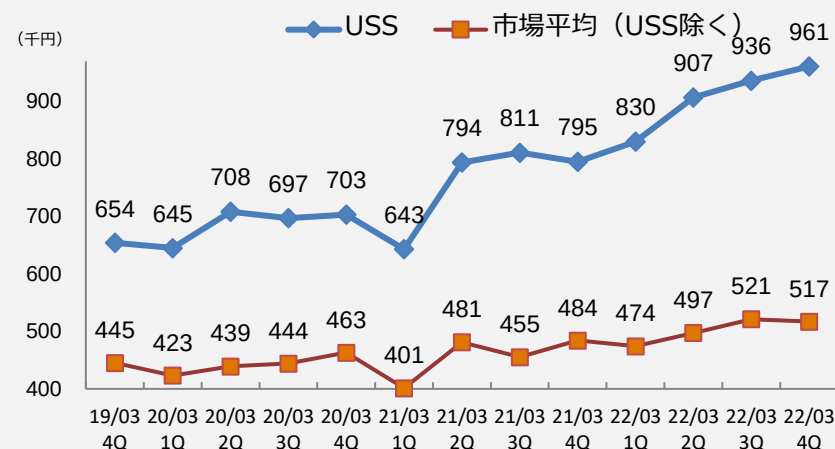
成約率の競合比較



出品台数市場シェアの推移

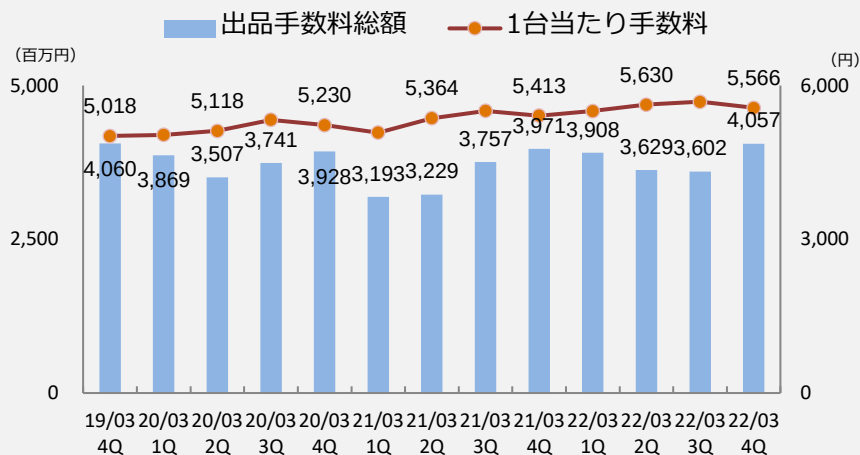


1台当たり成約車両金額の競合比較

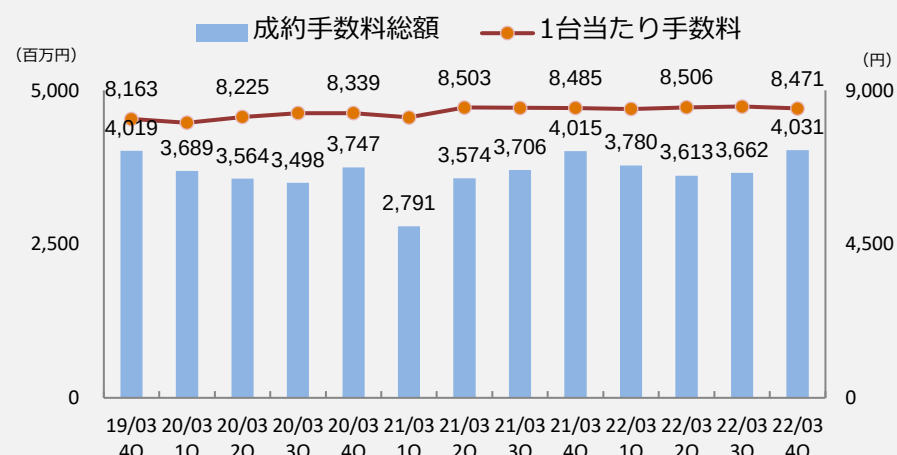


※12月期は暦年の、6月期は半年の数字を記載しております。
 ※JBAの実績は含めておりません。

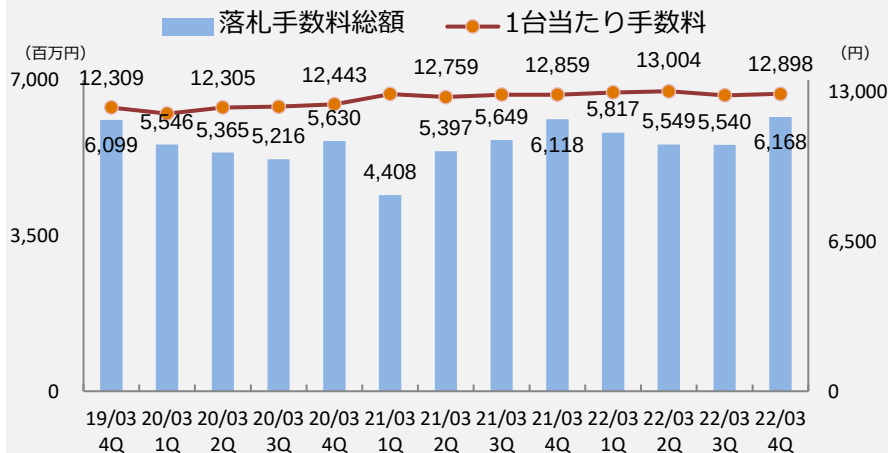
出品手数料総額と1台当たり手数料



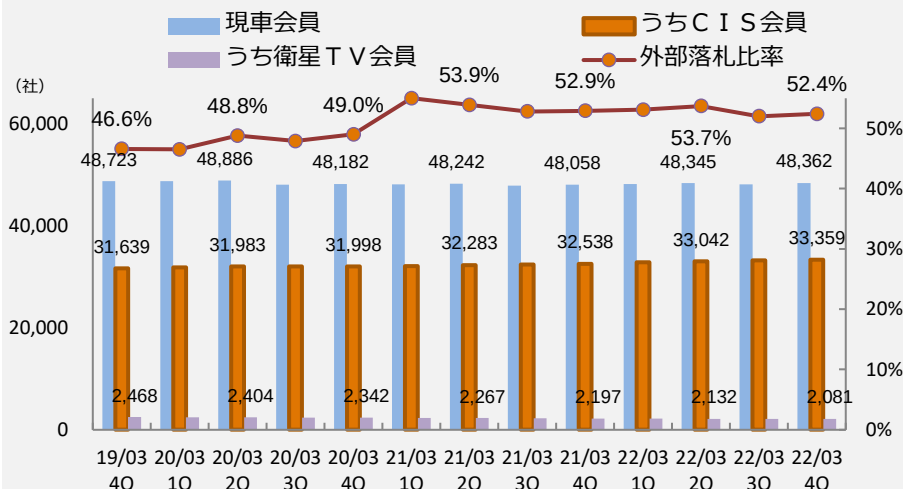
成約手数料総額と1台当たり手数料



落札手数料総額と1台当たり手数料



会員数と外部落札比率



※ 1台当たり手数料は、連結相殺前の数値をもとに算出しております。
 ※ JBAの実績は含めておりません。

※ 2019年4月より外部落札比率の計算方法を見直しております。

オートオークションのセグメント⑤

2021年4月から2022年3月までの12か月間

(単位：回、台)

	開催数		出品台数			成約台数			成約率	
	2022.3	2021.3	2022.3	2021.3	前期比	2022.3	2021.3	前期比	2022.3	2021.3
東京	49	49	666,861	617,968	107.9%	459,229	418,525	109.7%	68.9%	67.7%
名古屋	49	49	453,432	442,949	102.4%	266,162	251,495	105.8%	58.7%	56.8%
九州	49	49	201,249	187,467	107.4%	132,213	114,398	115.6%	65.7%	61.0%
大阪	49	49	196,185	203,665	96.3%	113,646	110,658	102.7%	57.9%	54.3%
横浜	49	48	178,895	175,997	101.6%	121,518	115,310	105.4%	67.9%	65.5%
札幌	48	49	130,874	132,298	98.9%	93,079	90,973	102.3%	71.1%	68.8%
静岡	49	49	108,780	99,829	109.0%	67,204	62,839	106.9%	61.8%	62.9%
R－名古屋	49	48	100,577	115,941	86.7%	86,660	96,276	90.0%	86.2%	83.0%
神戸	48	49	81,851	72,663	112.6%	48,244	42,697	113.0%	58.9%	58.8%
岡山	49	49	64,490	68,261	94.5%	50,556	49,648	101.8%	78.4%	72.7%
東北	48	49	52,666	50,410	104.5%	42,371	37,384	113.3%	80.5%	74.2%
群馬	49	49	51,384	52,040	98.7%	35,841	35,207	101.8%	69.8%	67.7%
新潟	48	49	48,081	47,168	101.9%	28,413	25,575	111.1%	59.1%	54.2%
埼玉	49	48	46,379	45,263	102.5%	28,565	25,675	111.3%	61.6%	56.7%
福岡	48	49	35,007	40,942	85.5%	22,476	25,379	88.6%	64.2%	62.0%
北陸	49	49	17,874	18,352	97.4%	12,863	12,963	99.2%	72.0%	70.6%
JAA	48	49	72,381	73,581	98.4%	38,960	40,796	95.5%	53.8%	55.4%
HAA神戸	49	49	224,703	216,290	103.9%	139,302	125,012	111.4%	62.0%	57.8%
合計	876	879	2,731,669	2,661,084	102.7%	1,787,302	1,680,810	106.3%	65.4%	63.2%

※2020年8月に発生した落雷の影響により、前期は埼玉会場でオークションを1開催休催しました。

※JBAの実績は含めておりません。

オートオークションのセグメント⑥

(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	2020.3	265,360	248,623	257,709	249,936	210,323	229,142	1,461,093	252,790	257,226	196,407	211,406	251,864	293,266	1,462,959	2,924,052
	増減率	▲0.3	7.1	1.4	11.5	2.0	▲2.1	3.1	7.7	▲0.1	▲5.1	▲5.6	▲4.0	▲10.5	▲3.3	▲0.2
	2021.3	255,293	180,384	196,014	217,449	166,982	221,001	1,237,123	250,352	228,129	207,446	207,691	242,073	288,270	1,423,961	2,661,084
	増減率	▲3.8	▲27.4	▲23.9	▲13.0	▲20.6	▲3.6	▲15.3	▲1.0	▲11.3	5.6	▲1.8	▲3.9	▲1.7	▲2.7	▲9.0
	2022.3	249,661	226,767	237,143	248,298	167,498	232,175	1,361,542	225,057	211,642	200,338	194,069	233,948	305,073	1,370,127	2,731,669
	増減率	▲2.2	25.7	21.0	14.2	0.3	5.1	10.1	▲10.1	▲7.2	▲3.4	▲6.6	▲3.4	5.8	▲3.8	2.7
成約台数	2020.3	156,986	150,529	153,217	153,889	131,750	150,541	896,912	156,496	151,044	115,291	130,627	158,104	163,969	875,531	1,772,443
	増減率	▲1.3	2.1	▲3.4	7.2	▲0.2	▲1.0	0.5	3.0	▲6.5	▲6.9	▲4.2	▲2.0	▲17.2	▲6.2	▲2.9
	2021.3	119,644	96,174	126,384	150,887	118,526	153,725	765,340	166,954	145,090	127,329	132,226	156,459	187,412	915,470	1,680,810
	増減率	▲23.8	▲36.1	▲17.5	▲2.0	▲10.0	2.1	▲14.7	6.7	▲3.9	10.4	1.2	▲1.0	14.3	4.6	▲5.2
	2022.3	152,866	145,088	151,456	156,301	113,210	157,678	876,599	153,735	147,200	130,978	130,829	155,225	192,736	910,703	1,787,302
	増減率	27.8	50.9	19.8	3.6	▲4.5	2.6	14.5	▲7.9	1.5	2.9	▲1.1	▲0.8	2.8	▲0.5	6.3
成約率	2020.3	59.2	60.5	59.5	61.6	62.6	65.7	61.4	61.9	58.7	58.7	61.8	62.8	55.9	59.8	60.6
	2021.3	46.9	53.3	64.5	69.4	71.0	69.6	61.9	66.7	63.6	61.4	63.7	64.6	65.0	64.3	63.2
	2022.3	61.2	64.0	63.9	62.9	67.6	67.9	64.4	68.3	69.6	65.4	67.4	66.4	63.2	66.5	65.4

※JBAの実績は含めておりません。

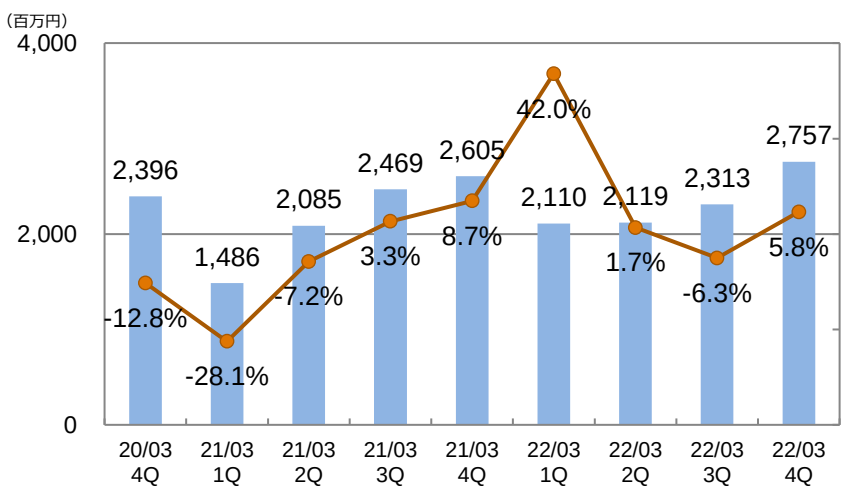
- 中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高水準で推移するも、買取相場の上昇・買取台数の減少により増収減益。(売上高5,296百万円(前期比107.1%)、営業利益75百万円(前期比53.2%))
- 事故現状車買取販売事業は、高額車の取扱いが増加するも、販売台数の減少により増収減益。(売上高4,004百万円(前期比108.2%)、営業利益60百万円(前期比46.8%))

中古自動車等買取販売のセグメント通期業績（累計）

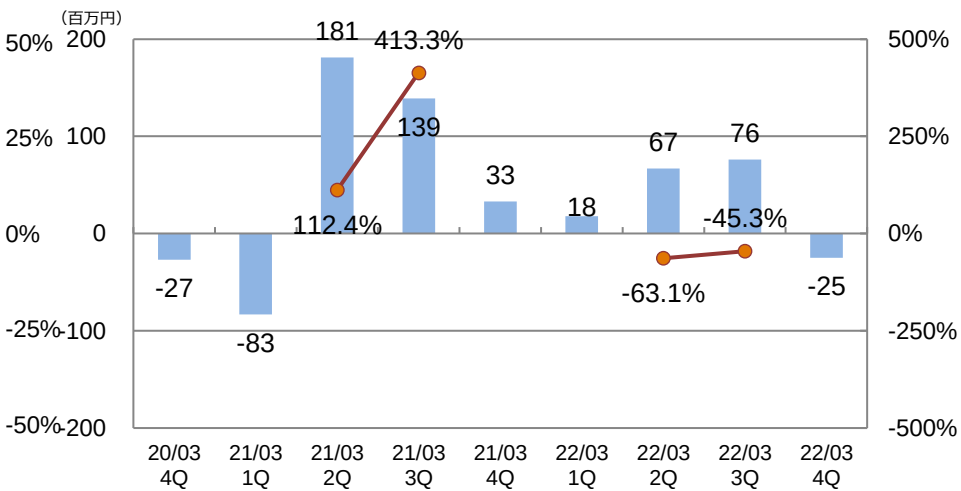
（単位：百万円）

	2020.3	2021.3	2022.3	前期比
売上高	9,099	8,646	9,300	107.6%
営業利益	103	271	136	50.2%
営業利益率	1.1%	3.1%	1.5%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

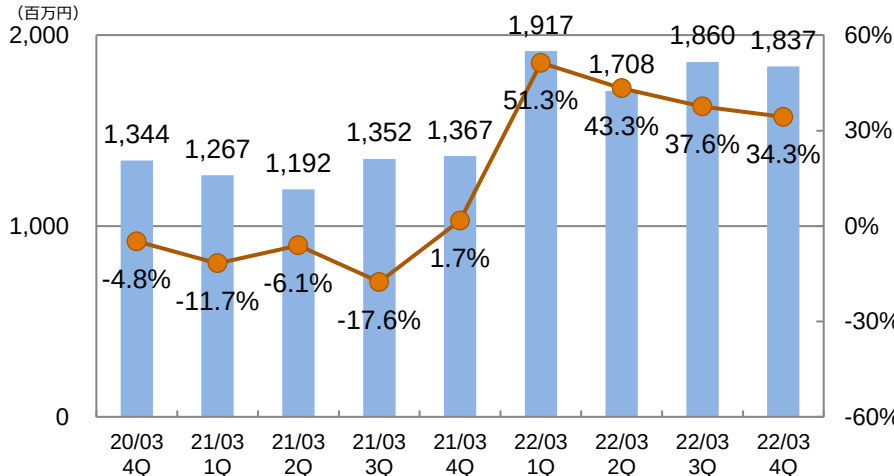
- リサイクル事業は、金属スクラップ相場の高値推移による売上・粗利益の増加、および解体工事の取扱い増加等により増収増益。(売上高7,238百万円(前期比149.9%)、営業利益1,142百万円(前期比303.6%))

その他のセグメント通期業績（累計）

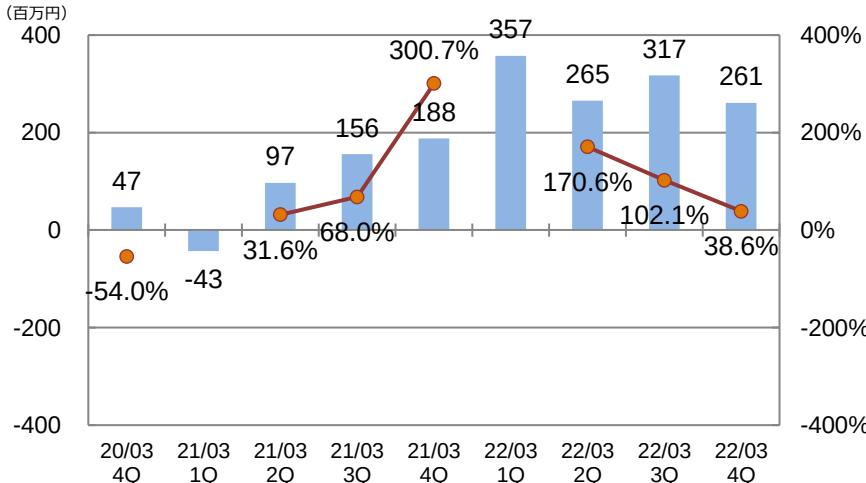
（単位：百万円）

	2020.3	2021.3	2022.3	前期比
売上高	5,692	5,180	7,323	141.4%
営業利益	369	400	1,200	300.1%
営業利益率	6.4%	7.7%	16.4%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



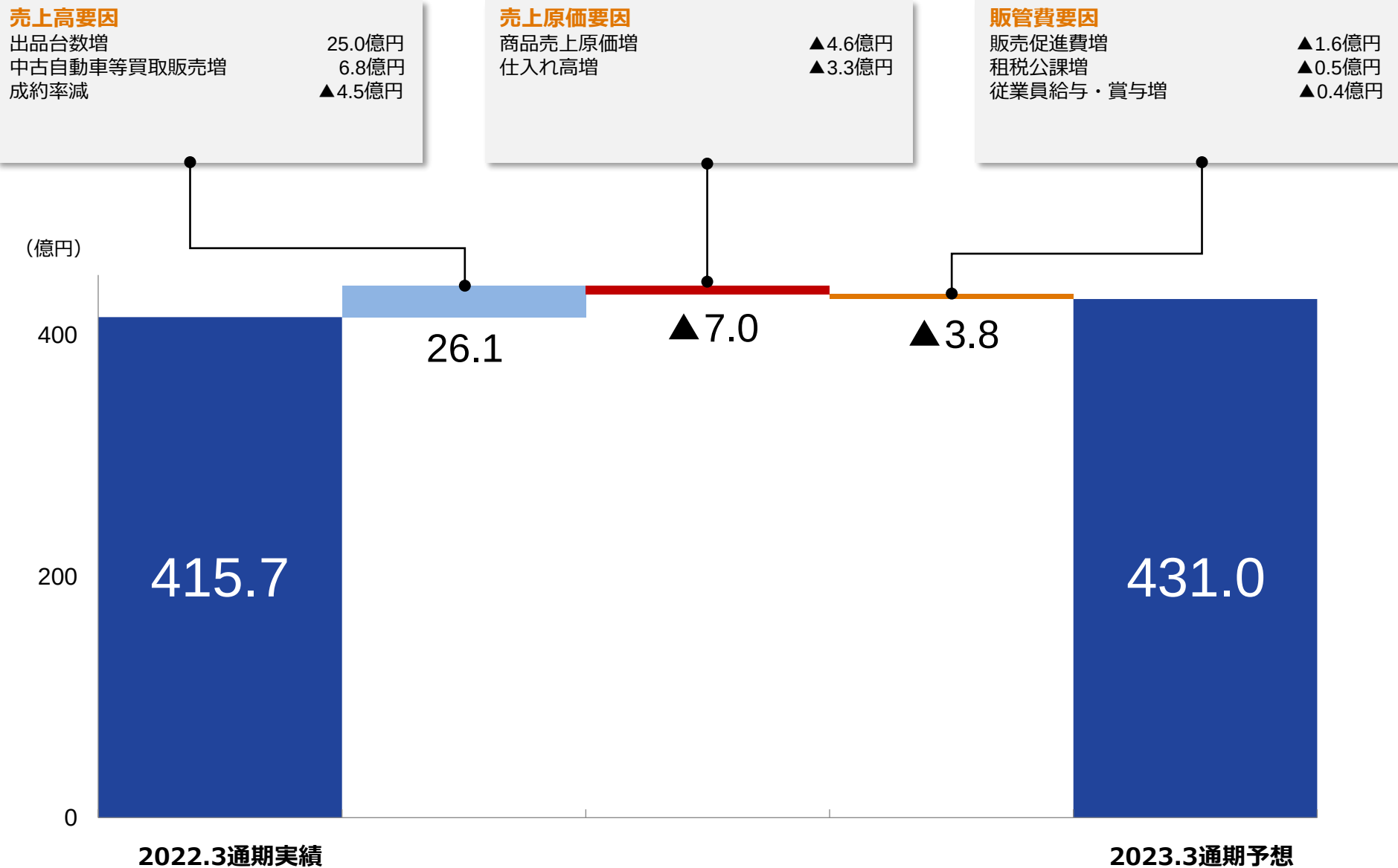
※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

2023年3月期 通期連結業績予想

- USSは会員の利便性向上・サービスの強化を図り、出品台数を確保。オートオークション業界におけるシェア向上を目指す。

(単位：百万円)

	2021.3 (実績)	2022.3 (実績)	2023.3 (計画)	前期比
売上高	74,874	81,482	84,100	103.2%
売上総利益 (売上比)	46,533 (62.1%)	50,772 (62.3%)	52,685 (62.6%)	103.8%
営業利益 (売上比)	36,227 (48.4%)	41,574 (51.0%)	43,100 (51.2%)	103.7%
経常利益 (売上比)	36,996 (49.4%)	42,374 (52.0%)	43,800 (52.1%)	103.4%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上比)	4,022 (5.4%)	29,745 (36.5%)	30,000 (35.7%)	100.9%
1株当たり当期純利益 (円)	16.13	119.80	122.34	102.1%
設備投資 (支出ベース)	8,985	2,036	6,800	333.9%
減価償却費	5,334	4,959	4,770	96.2%
オートオークション事業(JBA除く)	2021.3 (実績)	2022.3 (実績)	2023.3 (計画)	前期比
出品台数 (千台)	2,661	2,731	2,860	104.7%
成約台数 (千台)	1,680	1,787	1,850	103.5%
成約率	63.2%	65.4%	64.7%	-



(単位：百万円)

	2021.3 (実績)	2022.3 (実績)	2023.3 (計画)	前期比
売上高				
オートオークション	61,048	64,858	67,035	103.4%
中古自動車等買取販売	8,646	9,300	9,989	107.4%
その他	5,180	7,323	7,074	96.6%
合計	74,874	81,482	84,100	103.2%
営業利益 (売上比)	36,227 (48.4%)	41,574 (51.0%)	43,100 (51.2%)	103.7%

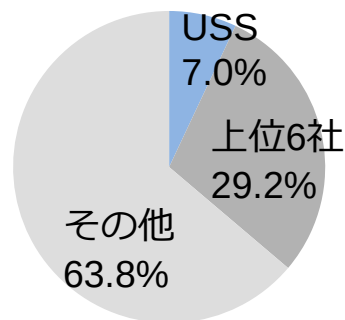
市場環境認識と 中期的な価値創造に向けた戦略

オートオークション市場とUSSのシェア

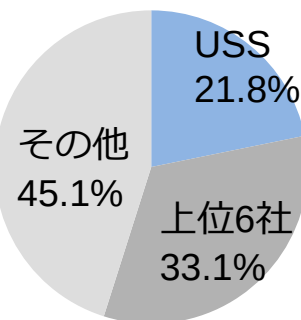
■ 金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。

■ JAAの子会社化で、市場シェアが大きく上昇。(2017年8月 同社をM&A)

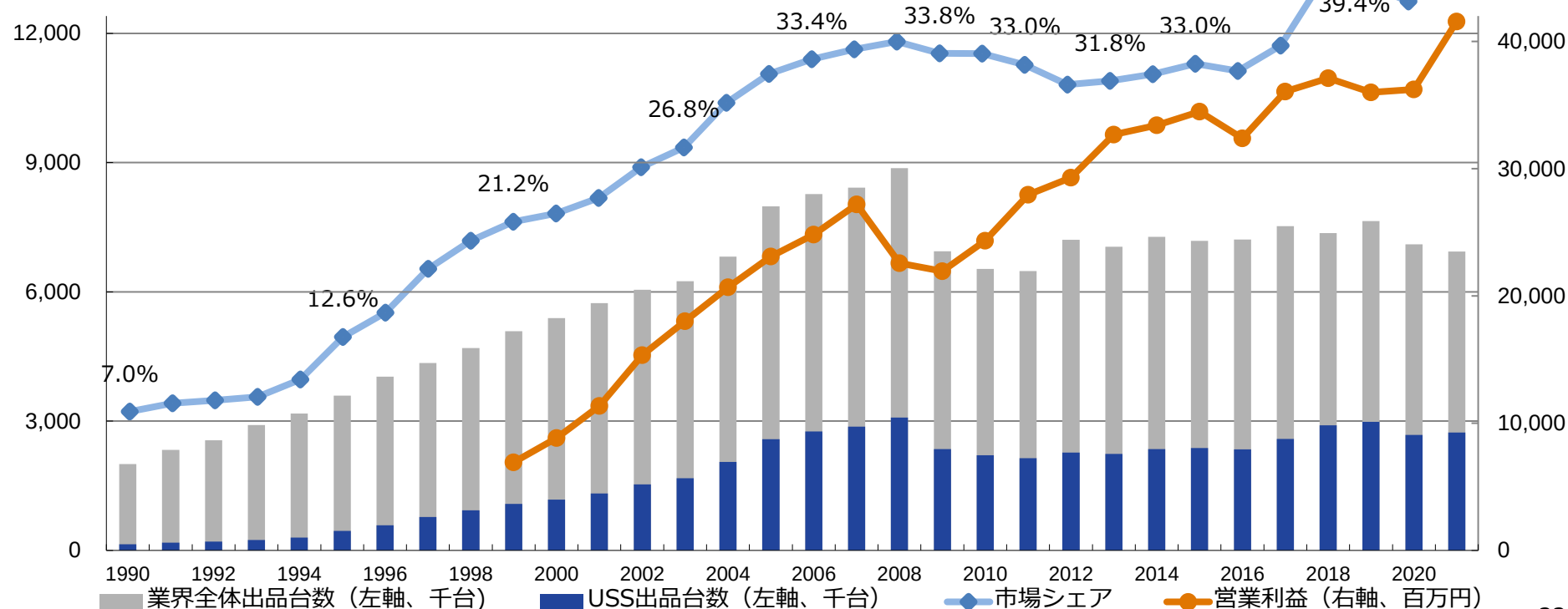
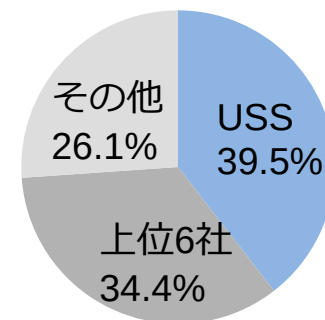
1990年（暦年）市場シェア



2000年（暦年）市場シェア

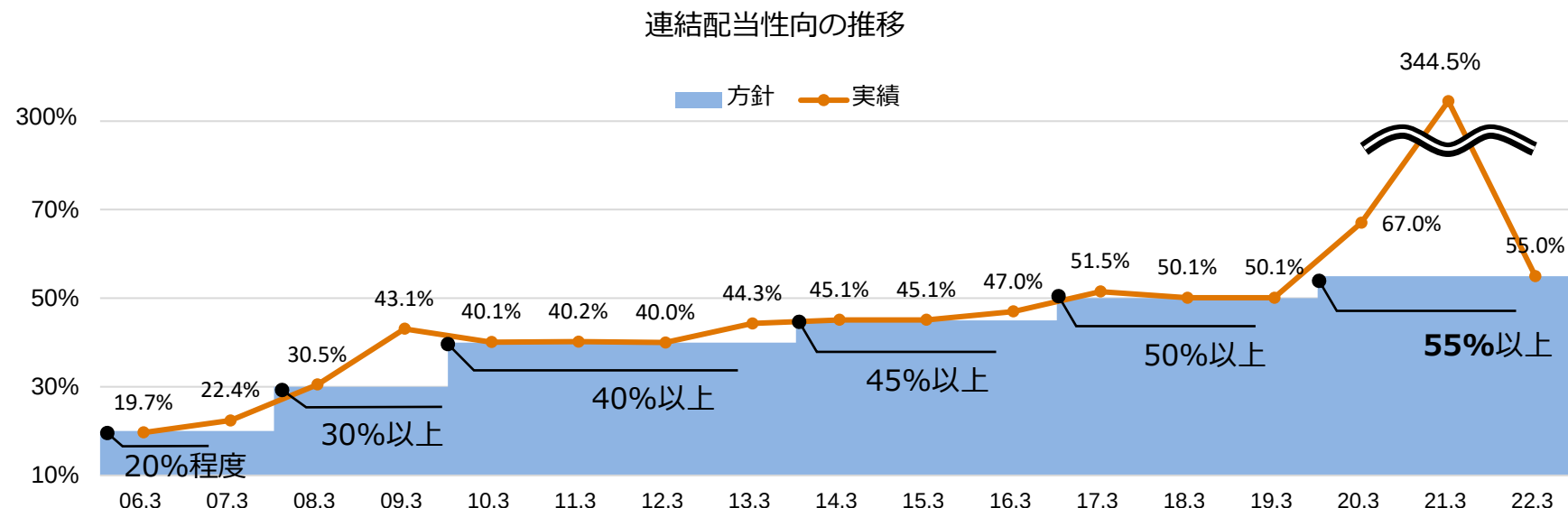


2021年（暦年）市場シェア



成長投資とともに株主還元の充実を継続

■連結配当性向：2020年3月期より**55%以上**に引き上げ。



■株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の水準を目指す。

- 自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。

直近の自己株式取得状況（約定日基準）

取得株式の種類	当社普通株式
取得期間	2021年11月9日～2022年4月30日
取得株式の総数	4,887,600株
取得価額の総額	9,146,554,100円
取得方法	市場取引

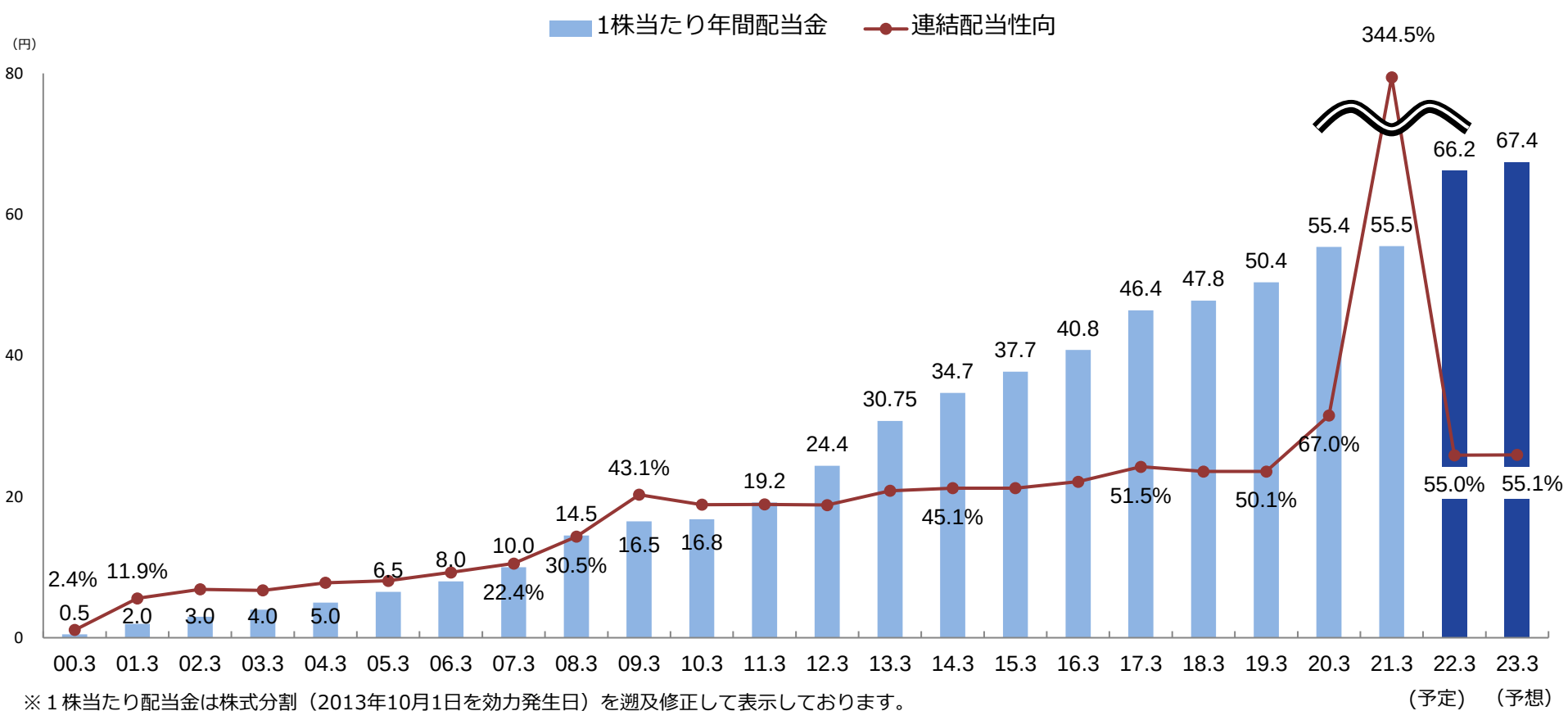
(2021年11月9日～2022年5月31日までの期間にて、上限600万株/100億円の株式を取得予定)

自己株式の消却内容

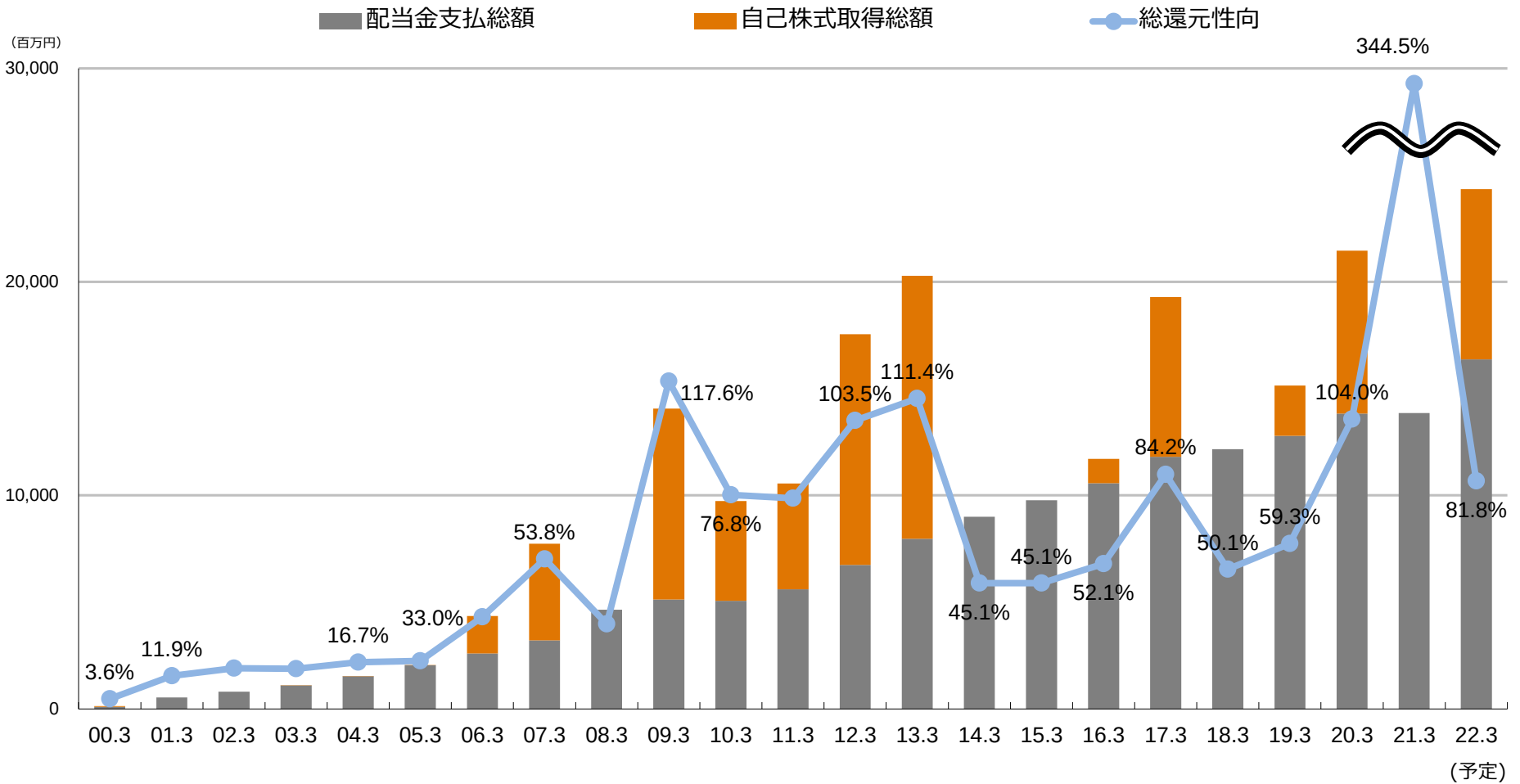
当社は、2021年9月30日時点で、発行済株式総数の20.3%の自己株式を保有しておりますが、自己株式の取得が終了した後、自己株式はすみやかに発行済株式総数の5%を残して消却する予定です。

消却する株式の総数および消却予定日は自己株式取得終了後、開示します。

- 2022年3月期の1株当たり年間配当金：**66.2円**（前期比10.7円増）を予定。
- 2023年3月期の1株当たり年間配当金：**67.4円**（前期比1.2円増）を予想。
- 株式上場以来**23期**連続増配予想。

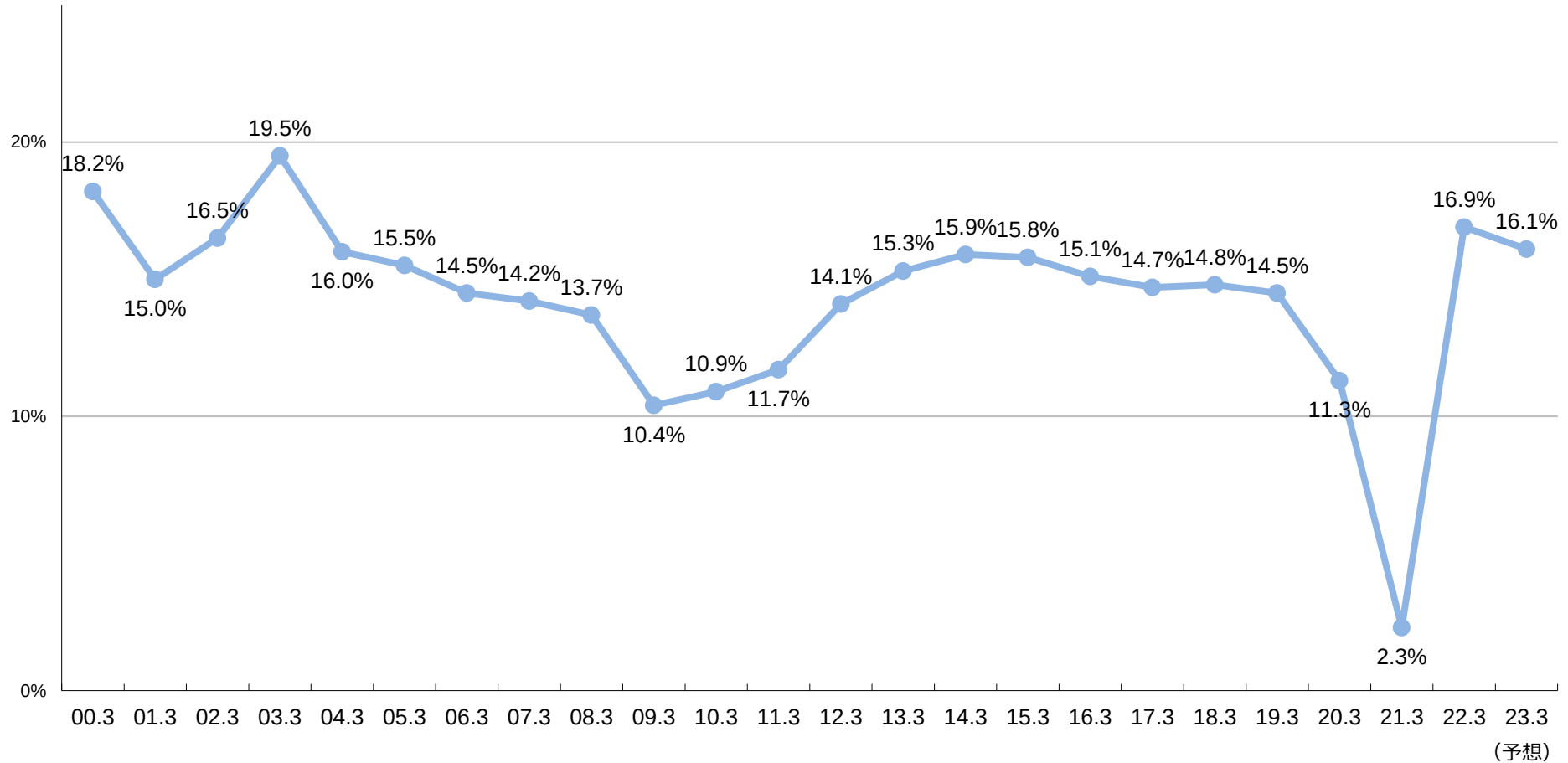


■安定的な配当とともに、機動的な自己株式取得を実施。

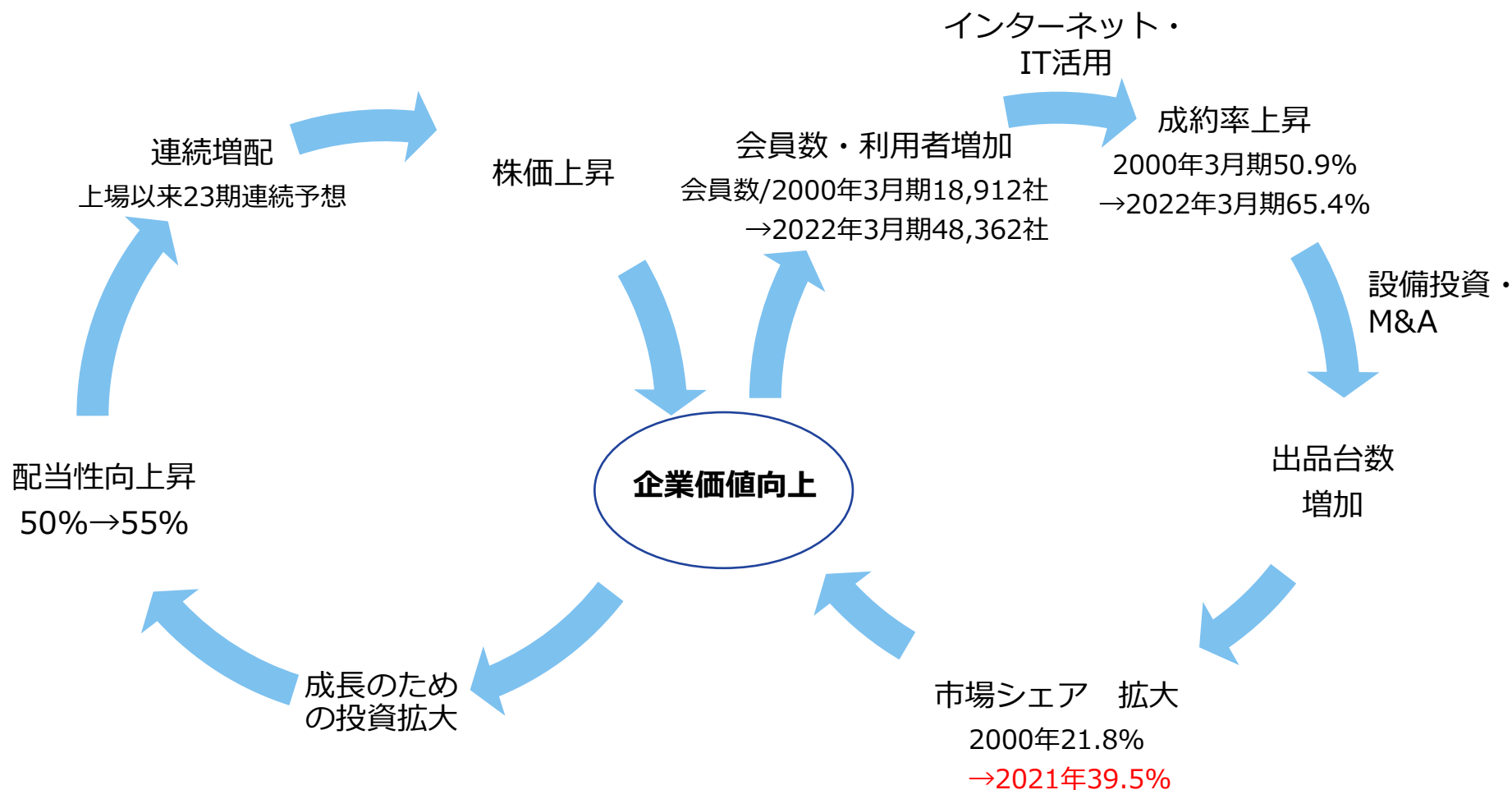


■中期的に15%以上の水準を目指す方針は不変。

ROEの推移



■成長投資と株主還元の両輪で株主価値の向上を目指す。



- TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に沿った開示を2022年6月に予定。
 - ・ Scope1、2、3のCO2排出量の算定および中期的なCO2排出量削減目標を開示予定
- ※ Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)、Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出、Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)
- 具体的な取組み
 - ・ オークション会場内に再生可能エネルギー（太陽光発電）導入の推進
- 2022年5月10日開催の取締役会にて役員報酬の評価指数に「ESG外部評価※」を導入することを決議。 ※「ESG外部評価機関（MSCIおよびCDP）の格付け」を採用。
- 国際的な環境非営利団体であるCDPが実施する企業調査において、「気候変動」の分野で「C」評価を獲得。



当社のESGの方針や取組みは、2021年9月発行の統合報告をご覧ください。

2021年度 統合報告書 <https://www.ussnet.co.jp/ir/library/annual/>

IRに関するお問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス
統括本部 総務部

電話 : 052-689-1129

E-mail : irinfo@ussnet.co.jp

<注意事項>

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。
- 本資料の百分率（％）は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

出所

（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会、（株）ユーストカー、財務省貿易統計

ご参考

USSの長期にわたる成長の歴史

2000年以前の歴史

1982年 出品台数255台で第1回オートオークション開催。

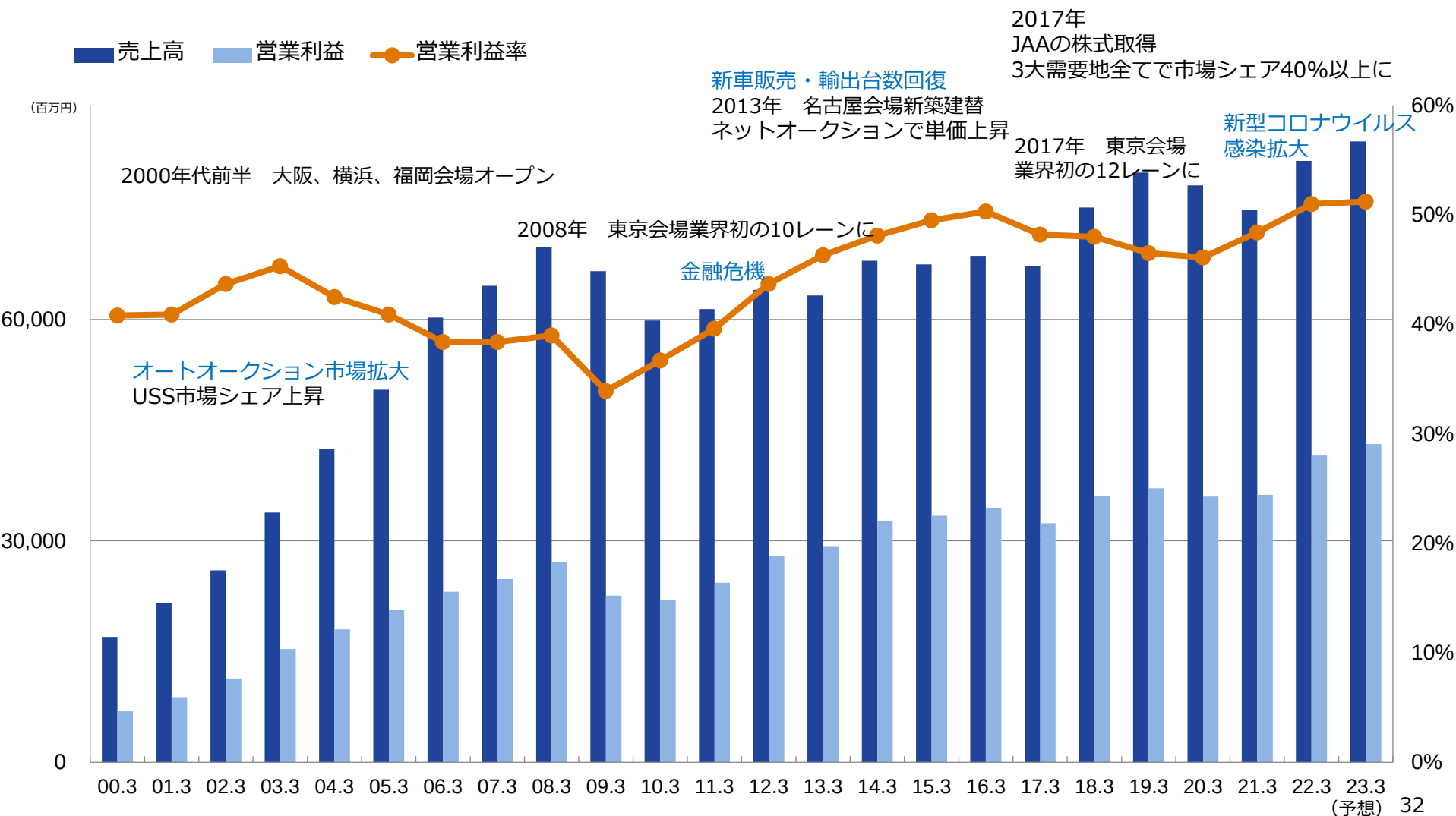
88年 名古屋会場拡張 日本最大570席に

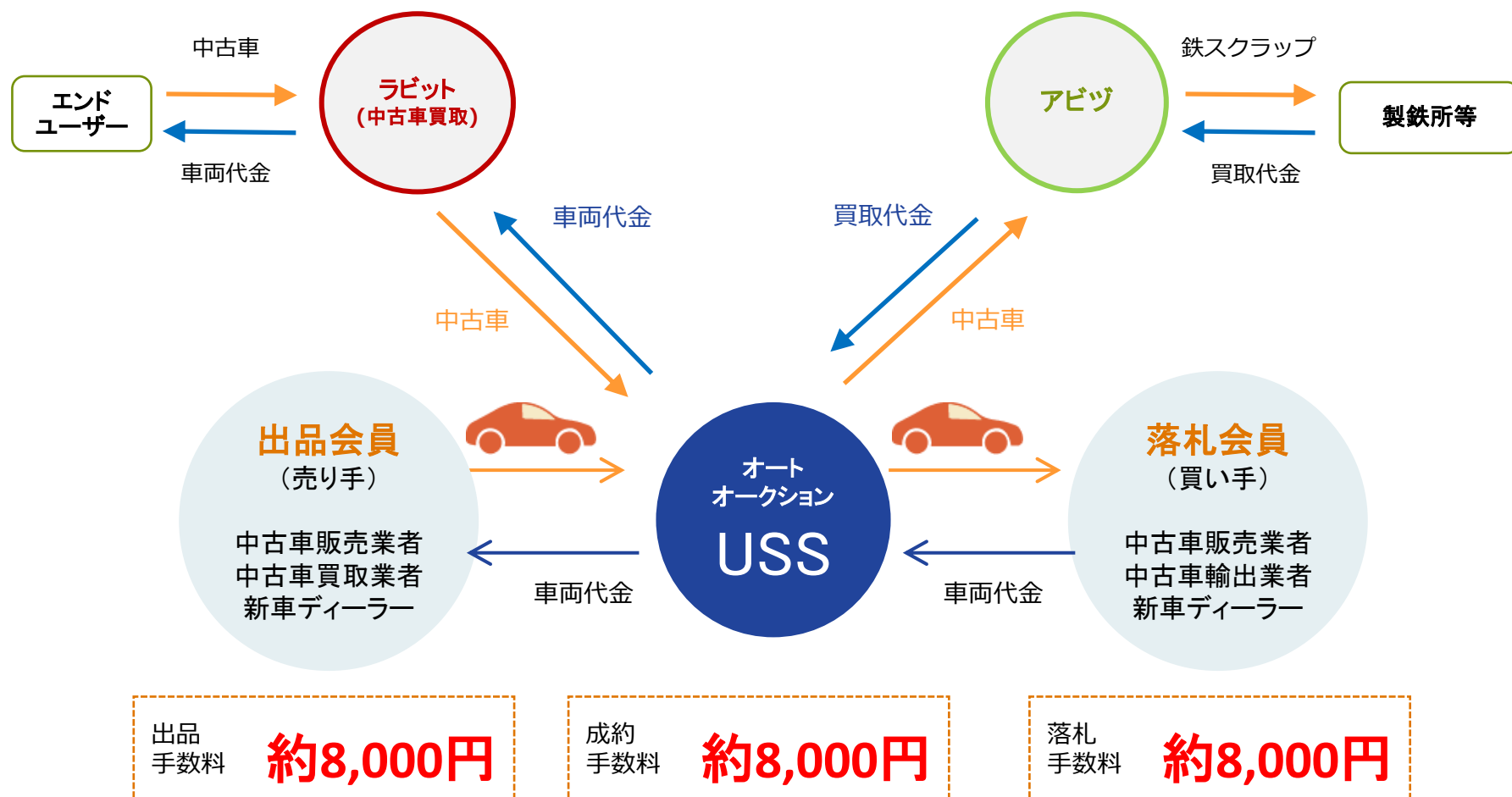
90年代前半 九州 東京会場オープン

90年代後半 岡山、静岡、札幌、西東京（現：埼玉）会場オープン

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率

(百万円)



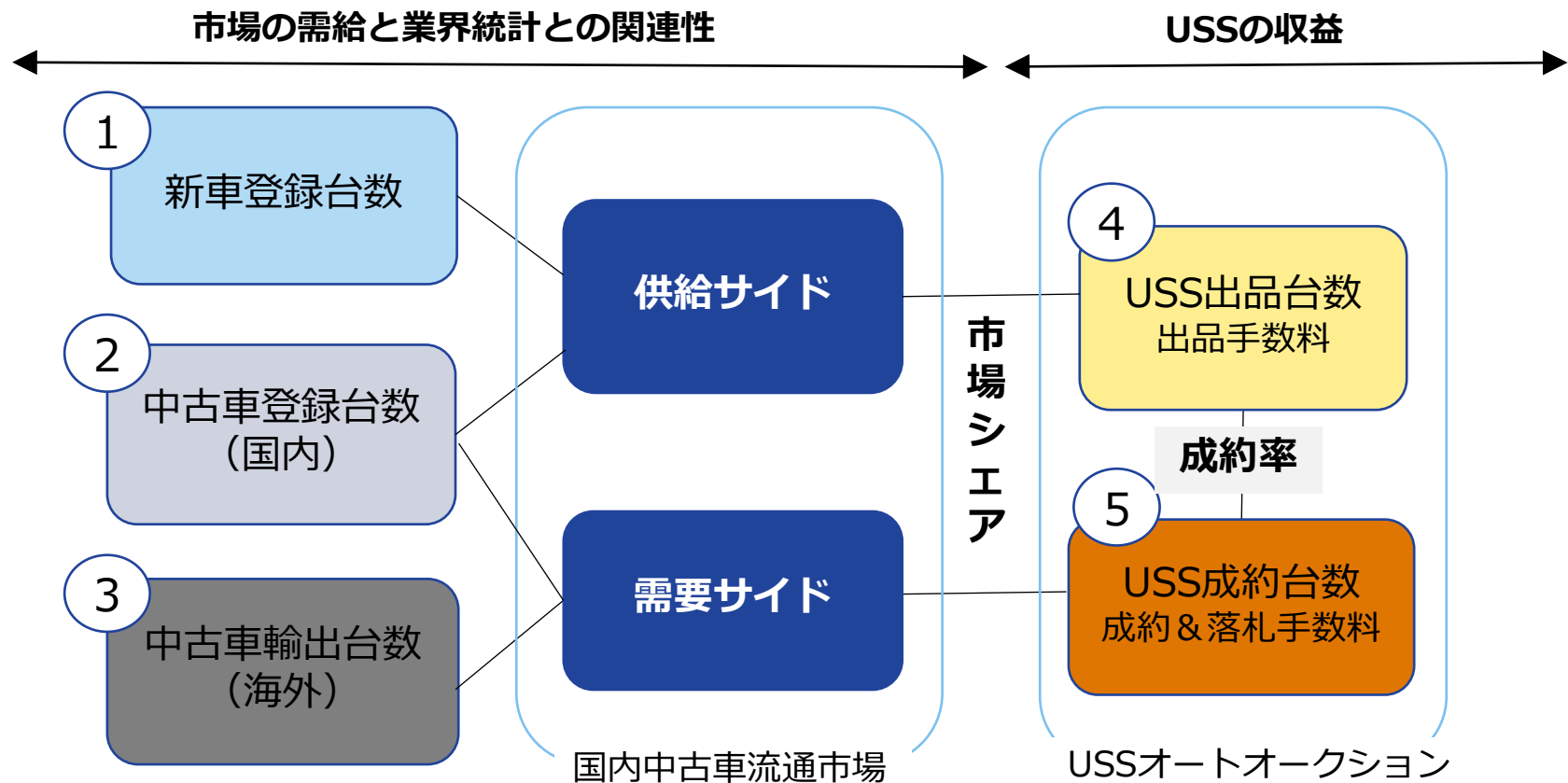


年間出品台数 **273万台**
(2022年3月期実績)

1台の成約につき
USSへの手数料 **約24,000円**

成約率 **65.4%**
(2022年3月期実績)

- オートオークション市場への中古車供給台数は、下取りを通して①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。



新車・中古車登録台数とオートオークション市場の推移

- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。
2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。

（千台） 新車・中古車登録台数、中古車輸出台数とオークション出品・成約台数の推移（暦年）

